

持続可能な2つの基盤確立とそれを支える土台

① 持続可能な食料・農業基盤の確立

② 持続可能な地域・組織・事業基盤の確立

③ 不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化

横断的な取り組み

④ 協同組合としての人づくり

⑤ 「食」「農」「地域」「JA」にかかる地域の理解醸成

中長期(10年後)を見通して重点的に取り組む

5つの柱

対話を通じた不断の自己改革

3つの基本目標

当JAは組合員の農業生産に関わるSDGs(持続可能な開発目標)への取り組みに対して支援を行っています

農業者の所得増大

農業生産の拡大

地域の活性化



船橋市のJR西船橋駅で市内産のイチゴを販売。多くの鉄道利用者が買い求めていきました



柏地区女性部はチーバくんがデザインされた米袋を使ったエコバッグを作りました。農業資材の再利用で女性部員の環境問題への意識を高めていきます



桜の開花時期に合わせて本店前の桜並木をライトアップしました。多くの市民が夜桜鑑賞を楽しんでいました

東京都中央区の明治座でお得意様観劇招待会を開きました。前川清と藤山直美公演の「恋の法善寺横丁」と「前川清オンステージ」をお楽しみいただきました



市川地区青年部はロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用した農業機械実演会を実施。生産現場での最新技術の導入を進め、農産物の生産性を高めていきます



当JAは准組合員の皆さまを地域農業の応援団と位置付け、管内農業の振興を進めています。各支店ではポスターを掲示し、仲間を募っています。農業に興味をお持ちの皆さまのご加入をお待ちしています



当JA女性部は東京パラリンピック2020で公式競技だった「ボッチャ」体験会を開きました。